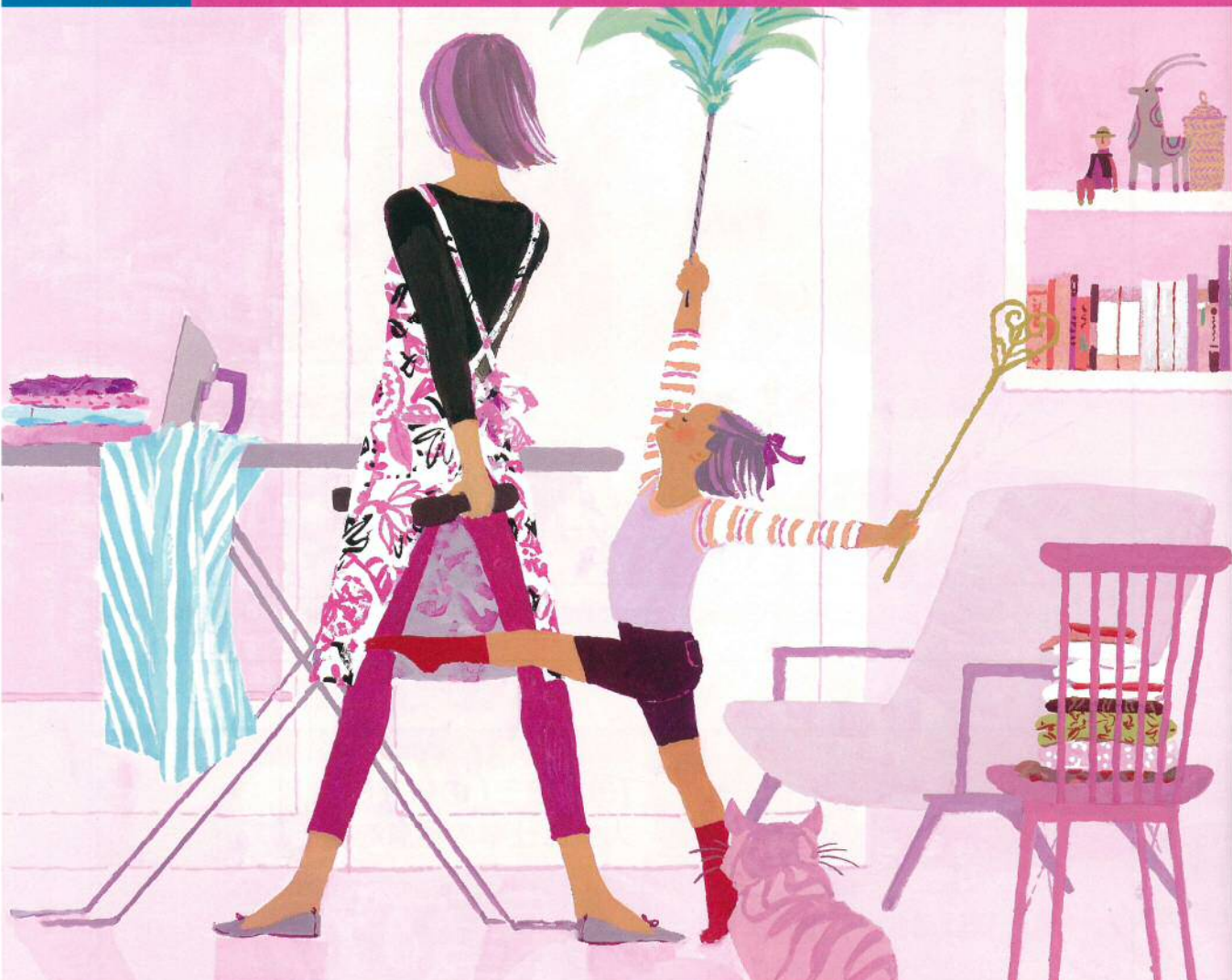


4

平成27年

心の生涯学習誌  
れいろう

THE INSTITUTE OF MORALOGY  
M



〈特集〉

# 幸せの種をまく

## いつか花咲くその日のために

水谷秀子

株式会社「佃宝」代表取締役

山田真器子

NPO法人みみずりサイクル理事長

佐藤ヒデ

「ふくちゃんの祈り」作者

朝妻秀子

〈かぞくとともに〉 (株)東京・ビジネス・ラボラトリー代表取締役

〈母を憶う〉 松岡 浩 (株)タニサケ代表取締役会長

〈共に歩む〉 藤本 聰 (視覚障害者柔道66kg級金メダリスト)

母のことを書くようにと、これまでたびたび知人等に言われてきましたが、実母を早くに亡くした私はすべて断っていました。今回は、七十歳を過ぎて、男兄弟でただ一人生き残っている私が「幸せな人生」を送らせていただいている源である、実母、継母、伯母のことを語らねばと使命を感じて書きます。

私は五男一女の末っ子です。私が生まれた二年後に実母は病気で亡くなり、しばらくして継母が来てくれました。家業が八百屋（食料品店）でとても忙しかったので、私は近くの伯母の家に預けられていました。夜になると、父や兄たちが迎えに来てくれたことを覚えています。

残念ながら実母の記憶はまるっきりありませんが、周りの人々から「明るくて気立てがよい人だった」と伝えられました。いつのころからか、私もそうになりたいと意識したものです。継母は、優しく本当によく働く人でした。私は多忙な継母の代わりに小学校六年生まで夕食の準備をしていました。おかげで料理に興味を持ち、その後、調理師の資格も取得しました。伯母は私の青年期まで、

## 母を憶う<sup>4</sup>

### 三人の母

株式会社タニサケ 代表取締役会長 **まつおか ひろし**  
**松岡 浩**

昭和19年（1944年）、岐阜県池田町生まれ。大垣商業高校卒業後、イビデン(株)を経て、家業の「スーパーマツオカヤ」を継ぐ。60年、害虫駆除剤製造販売の「谷酒生物公害研究所」(現(株)タニサケ)を設立。63年社長、平成12年から現職。「岐阜掃除に学ぶ会」代表世話人。

不思議に思うほど「無償の愛」で育ててくれました。そのことは私の人格形成を方向付けたようです。

高校生のころ、少し非行に走りました。それは「大人びた行動」の真似事に過ぎず、人に迷惑をかけたことはありませんでした。振り返ると、実母、継母、伯母には言葉では教えてもらっていませんが、周囲の人々から聞く実母の評判や、継母、伯母の後ろ姿が私の人生に大きな影響を与えてくれています。

実母からは「前向きに生きる遺伝子」を、継母からは「優しさ」と「所懸命さ」を、そして伯母からは「愛と情け」を授けられました。「三人の母」から多くの恩恵を与えられた私は「世間様にお返しをしなければ」と遅まきながら燃えています。その一つが、一泊二日の無料の体験研修「タニサケ塾」の開催です。社員や家族の協力を得て休日返上で毎月開催をし、二百二十四回続けています。

叶うものならば夢でもいいから、一度も顔を見たことのない実母に会って感謝の言葉を捧げたいと願っています。贅沢な望みでしょうか。